

東町内会だより  
<2020年8月>

◎ 8月2日(日) 組長会議

新型コロナウイルスは第2波で拡大しており、依然として危機的状況が続いています！  
このため、今月も組長会議はテイクアウト方式(会館外で資料配布のみ)で実施しました。  
※この形態は、終息方向性が見えるまで当分続けていく予定です。



♡ 「東町界隈の今昔探訪」 ~2~

[文:安西 香(27組)、編集:畑中 祐一(38組)]

~昭和30年代の和泉東町~

昭和30年代の話題といえば、34年(1959年)4月の皇太子(現上皇)の結婚<\*1>と、39年(1964年)10月の東京オリンピック開催<\*2>ではないでしょうか。和泉東町に土着の家は無く、昭和30年代当初は主に畑地で、米や麦、サツマイモ、ジャガイモ等の栽培で、北は富士塚のバス停<\*3>辺りから、南は下和泉方面まで一望でき、富士山もクッキリ見える農村でした。

高度経済成長とともに、町内会館附近から次第に家が建ち始め、30年代の終わりには150戸余りになりました。

ただ、道路の整備がされず、雨の日の外出は大変で、特にサラリーマンや学生はブーツでバス停まで行き、そこでシューズ等に履き替えるありさまでした。夜道も外灯などは無く、懐中電灯は必携品でした。

伊勢原線(現長後街道)に出ても、片側一車線の狭い砂利道で凸凹がひどく、妊婦が乗ると流産すると言われ、「流産道路」と新聞に写真入りで報じられたこともありました。

次回につづく



立場交差点附近(1958年ごろ)

<\*1> 明仁皇太子殿下と正田美智子さん(現上皇后)が4/10ご成婚、当日は、NHKと民放でテレビカメラ100台、放送要員1,000人を動員してご成婚パレードを中継

<\*2> 10/10(後の体育の日)から10/24までの15日間、東京都で開かれたオリンピック競技大会。93か国(選手5,152人)参加、20競技163種目で開催

<\*3> かまくらみち「泉署入口」交差点附近

<9月のイベント予定>

◎ 9/6(日)~ 70歳以上の会員に敬老の日プレゼントを贈呈します。(組長経由で贈呈)

(個人情報の取り扱い: 本広報では町会員の写真・名前等を使わせていただくことがあります。何卒ご了承ください。)